

平成31（2019）年1月11日

独立行政法人都市再生機構

イケア・ジャパン株式会社

「イケアとURに住もう。」に新プランが登場

～ご好評につき、東京・千葉・福岡にて4プランが新登場！～

独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）とイケア・ジャパン株式会社（イケア）は、全国で実施している「イケアとURに住もう。」の平成30年度新プラン展開を決定し、千葉県・神奈川県・福岡県にて3団地4プランを追加して平成31年1月19日（土）から順次入居者募集を開始いたします。

新プランは、壁面にキャビネットなど設置できるカラフルな壁を用意した住戸などが登場します。団地ロケーションに合わせてそこに住む家族の暮らしを想定して暮らし方を提案しています。

また、新プラン発表に合わせて IKEA Tokyo-Bay（千葉県船橋市）ではイベントを開催します。

両社で提案するサステナブル・リビング「気軽に変化を楽しむ暮らし」に今後ともご期待ください。

【モデルルーム 記者内覧のご案内】

「イケアとURに住もう。」の新プラン発表に際して、モデルルームの記者向け内覧を受け付けます。新プラン住戸のご取材をご希望される場合は、UR都市機構までお問い合わせください。

ご多忙の折とは存じますが、何卒ご取材賜りますようお願い申し上げます。



アルビス前原（千葉県船橋市）

コンフォール明神台（神奈川県横浜市）

【本件に関するお問い合わせ先】

●UR都市機構

広報室広報課 担当 橋・霜鳥

（電話）045-650-0887

住宅経営部営業推進課 担当 坂下・加藤

（電話）045-650-0738

●イケア・ジャパン株式会社PRチーム

（メール）ikeajapanpr@IKEA.com

（電話）03-5572-6072

1. 今回新規募集する団地・プラン（3団地4プラン）のリデザイン住宅

	団地	所在地	型式	床面積 戸数	特徴
千葉	アルビス前原	船橋市前原西6-1	2LDK	63.20㎡ 1戸	 <p>【モダンナチュラルスタイル】 「家族思いのリラックスできる我が家」をコンセプトに、落ち着いた壁色を採用し、体にやさしい家具を配置する事で、二人の時間を大切にし、緑と自然を感じられる空間となっています。</p>
神奈川	コンフォール明神台	横浜市保土ヶ谷区明神台1	2DK	53.83㎡ 2戸	 <p>【ポピュラーモダンスタイル】 白、グレー、木目調に加えブルーをアクセントカラーとして使用した明るく爽やかなお部屋です。万人受けするスタイルでありながらも、家具や小物にクロムメッキやハイグロスなど異素材を組み合わせることで、モダンな空間に仕上がっています。</p>

	団地	所在地	型式	床面積 戸数	特徴
神奈川	コンフォール明神台	横浜市保土ヶ谷区明神台1	1DK	42.53㎡ 1戸	 <p>【スカンジナビアントラディショナルスタイル】 白、グレー、木目調に加え、部屋全体を引き締めるブラックをアクセントに使用。スタイリッシュな中にも素朴さや暖かさを感じられる空間になっています。</p>
福岡	アーベインビオ春日	春日市日の出町3-1-1ほか	2LDK	63.06㎡ 1戸	 <p>【スカンジナビアンモダンスタイル】 お部屋の中でも自然を感じる北欧スタイル。子育て世代が、子供の成長に合わせて容易に変更、追加（オプション）のできる家具をあらかじめ設置することで、気軽に季節やライフステージの変化を楽しむことができる空間になっています。</p>

※募集スケジュールや受付方法等の詳細は、UR都市機構「イケアとURに住もう。」サイトをご確認ください。 https://www.ur-net.go.jp/chintai/ur_ikea/

※募集住戸には、調度品等家具小物は、含まれません。

2 住戸募集スケジュール

	団地名 (所在) (管理開始年度)	住戸募集期間 抽選日	募集予定 戸数	型式
首都圏	アルビス前原 (千葉県船橋市)	1月19日(土)～ 先着順	1戸	2LDK
	コンフォール明神台 (神奈川県横浜市)	2月2日(土)～ 先着順	1戸	1DK
			1戸	2DK
九州	アーベインビオ春日 (福岡県春日市)	1月19日(土)～ 先着順	1戸	2LDK

3. イベントについて

新プラン発表に合わせ、以下の店舗においてUR賃貸住宅オリジナルブースを設置いたします。
「イケアとURに住もう。」のパネル展示を行い、プラン別人気投票を実施します。

開催店舗	開催期間	イベント実施場所	イベント内容
IKEA Tokyo-Bay	平成31年1月19日(土) ～2月3日(日)	IKEA BUSINESS ポイント (IKEA Tokyo-Bay 内)	パネル展示

「イケアとURに住もう。」プロジェクトについて

1 プロジェクトのご紹介

豊富に取りそろえたホームファニッシング製品（家具からテキスタイルに至るインテリア全般）を通じて、世界中の家庭へ快適な暮らしの提案を続けてきたイケアと、住まいを通じて日本の家族の暮らしを見守り続けてきたUR都市機構が、お互いの活動に共通する「サステナビリティ」に着目し、お客様が賃貸住宅で、より環境に優しく、気軽に変化を楽しみながら、豊かに暮らし続けていただけることを目指した取り組みです。

暮らしのアイデアを提案するイケアと、長く住みたくなる空間を提案するUR都市機構が、環境に優しく、季節やライフステージの変化を楽しみながら、豊かに暮らし続けられる「サステナブル・リビング」を提案します。

◆「イケアとURに住もう。」サイト

https://www.ur-net.go.jp/chintai/ur_ikea/

2 本取り組みのコンセプト「サステナブル・リビング」

グローバルに企業活動を行うイケアが強く意識しているのが「サステナビリティ（持続可能性）」。「People & Planet Positive」（ピープル・アンド・プラネット・ポジティブ）のコンセプトのもと、「健康的&持続可能な暮らし」、「サーキュラー&クライメット ポジティブ」、「公平&平等」の3つの分野を中心に、環境と社会にポジティブな影響を与えたいと考えています。今回の「サステナブル・リビング」でUR賃貸住宅に導入されたキッチンや商品においても、再生可能素材をできるだけ使い、家庭で省エネや節水、ゴミの削減やリサイクルを簡単に、しかもお手ごろに実践できるように考えられています。また、その供給過程においてもサプライヤーが環境に与える影響を最低限に抑制する方針が採られています。

一方、UR都市機構は、全国約1,600団地、約73万戸の豊富なバリエーションと豊かな屋外環境を誇るUR賃貸住宅で、ライフスタイルの多様化に対応するため既存の住宅に新しい価値を付加するリノベーションや、団地を再生する各種事業等により既存ストックの有効活用を推進しているほか、家族構成の変化等によるUR賃貸住宅内の住み替えや親族同士の近居等をサポートし、賃貸住宅でありながら、ライフスタイル、ライフステージの変化により住み替えが必要となる場合でも、生活環境やコミュニティが持続できるよう取り組んでいます。

人々の暮らしに深く関わってきた両社が、お互いの活動に共通する「サステナビリティ」の視点、つまり「お客様に負担をかけずお客様の生活をより豊かにする」、「環境やお客様のコミュニティを大切にする」という点に注目したのが今回の「サステナブル・リビング（持続可能な暮らし）」です。

以上